

科目名		国際保健学	
科目責任者(看護学専攻委員長)			
開講時期： 1年次後学期		単位数： 1 単位	時間数： 90分× 8 回
● 科目の教育目標 一般目標 (GIO) 国際保健に関する日本の状況と役割について理解する。国際的な看護の状況について理解し、我が国が果たすべき役割について考察する。 行動目標 (SBOs) 1) 国際保健の意義、目的を理解する。 2) 日本における外国人支援の状況と問題について理解する。 3) 日本における外国人看護師の状況と問題について理解する。 4) 国際的な看護の状況の理解を通じて、日本の看護について考察する。 5) 看護領域において、我が国が果たすべき役割について考察する。			
● 評価方法	プレゼンテーション内容 40%、討議への参加度 40%、課題レポート 20%		
● 参考文献	講義の中で必要に応じて紹介する。		

● 授業計画

回	項目	内容	担当教員
1	国際保健の意義、目的	国際保健の意義と目的について理解する。	看護学専攻委員長
2	日本における外国人支援	難民を中心として、日本における外国人支援の状況と問題点について理解する。	看護学専攻委員長
3	日本における外国人看護師(1)	日本における外国人看護師の状況と問題について理解する。	看護学専攻委員長
4	日本における外国人看護師(2)	日本における外国人看護師のあり方に関してのグループディスカッション。	看護学専攻委員長
5	日本の看護と諸外国の看護(1)	国際的な看護の状況の理解を通じて、日本の看護について考察する。	看護学専攻委員長
6	日本の看護と諸外国の看護(2)	国際的な看護の状況の理解を通じて、日本の看護について考察する。	看護学専攻委員長
7	日本の看護と諸外国の看護(3)	国際的な看護の状況の理解を通じて、日本の看護について考察する。	看護学専攻委員長
8	まとめ	看護領域において、我が国が果たすべき役割について考察する。	看護学専攻委員長